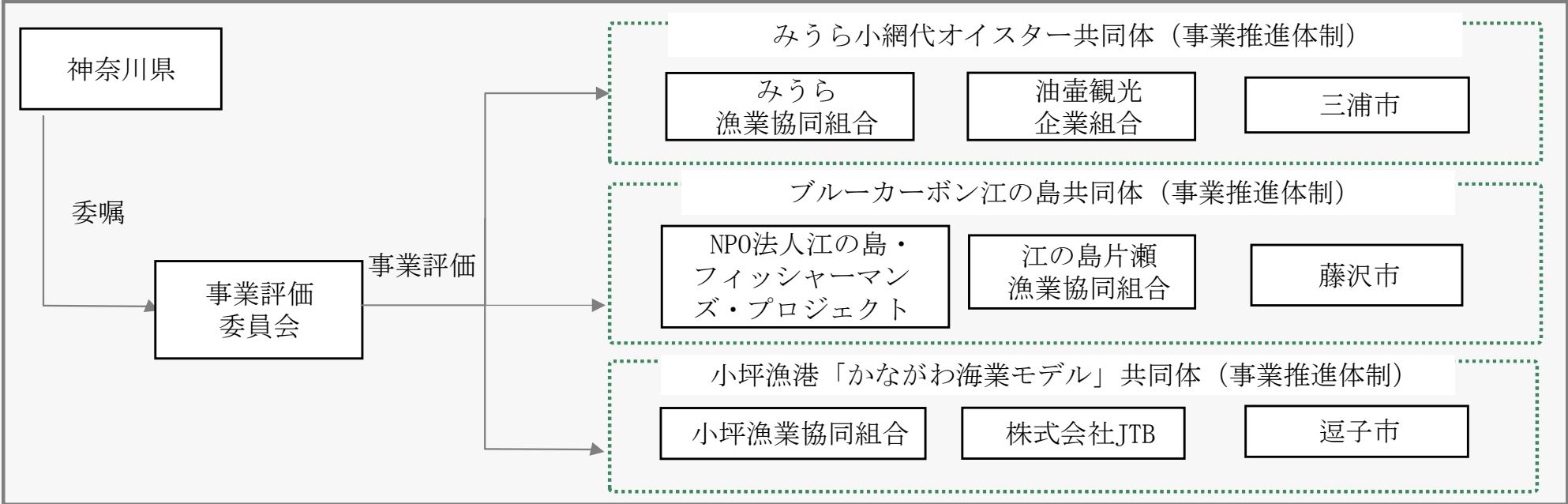


■ 具体的使途（経費内訳）

交付対象事業	経費内訳、交付金充当額
1 かながわ海業モデル創出事業 445千円	・モデル事業の効果の評価 445千円 決算書、利用者アンケート、現地調査等により、モデル事業の費用対効果や他地域への波及効果等を検証する。
2 漁業者と企業のマッチング 促進事業 17,000千円	・漁業者と企業のマッチング促進 17,000千円 企業と地域の漁業者等による情報交換会・マッチング会、現地調査会を実施する。また、ウェブサイト等による情報発信を実施する。
3 成功事例の展開 1,905千円	・成功事例の展開 1,905千円 成功事例の紹介等、海業実施について広く理解を得るためのシンポジウム、海業開業のためのマニュアルを作成して事業スタートアップセミナーを開催する。
4 海業の担い手育成事業 1,000千円	・海業に係る担い手の育成 1,000千円 海業に係る人材の育成のための知識取得を支援する研修プログラム等を実施する。
5 かながわ海業普及促進事業 4,000千円	・海業実施の意向及び事業提案があった事業者と連携した更なる海業の展開 4,000千円 「かながわ海業モデル創出事業」とは異なる2地域において、県が事業費の一部を負担し、海業実施の意向及び事業提案があった事業者（小田原・横須賀東部）と連携して、更なる海業の展開を図る。 小田原では港内クルーズに、横須賀東部では漁業体験とECサイトを活用した漁獲物の販売に取り組む。 事業の評価については、かながわ海業モデル創出事業にて設置した評価委員会を利用する。

海業推進事業のうちかながわ海業モデル創出事業

■ 実施体制

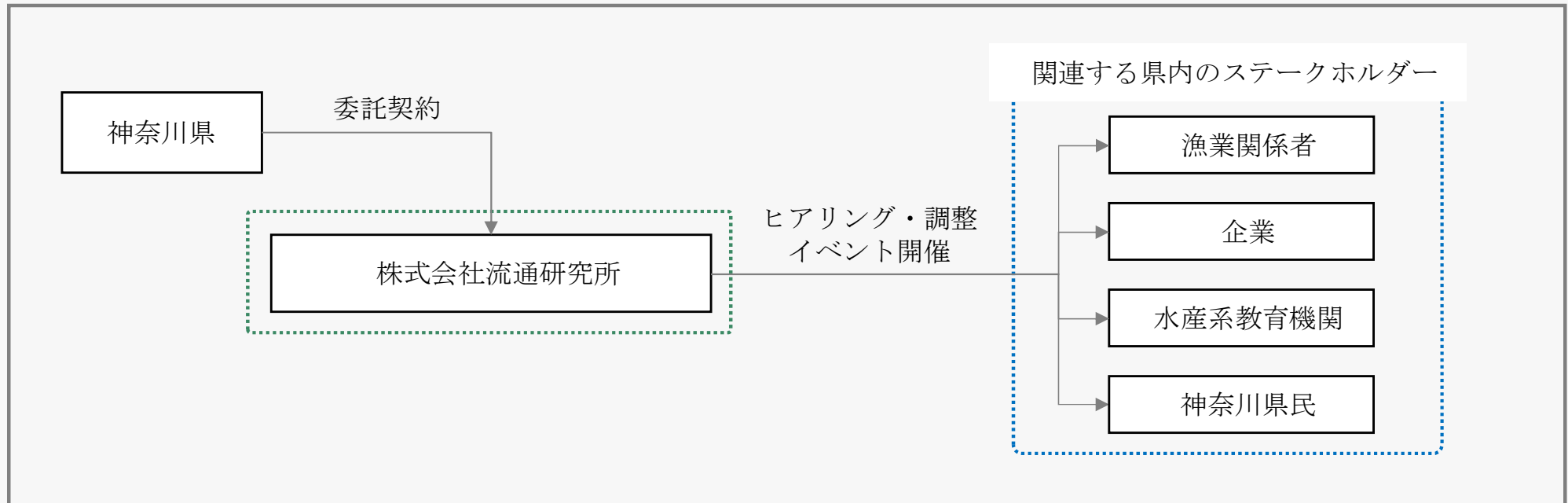


名称	役割
神奈川県	・ モデル事業による所得向上効果等の検証
事業評価委員会	・ 県において、委員5名に委嘱する。 ・ モデル事業の費用対効果や他地域への波及効果等を検証する。
みうら小網代オイスター共同体	・ 海業の取組（モデル事業）の実施
ブルーカーボン江の島共同体	・ 海業の取組（モデル事業）の実施

名称	役割
小坪漁港「かながわ海業モデル」共同体	・ 海業の取組（モデル事業）の実施

海業推進事業のうち漁業者と企業のマッチング促進事業・かながわモデル普及事業

■ 実施体制

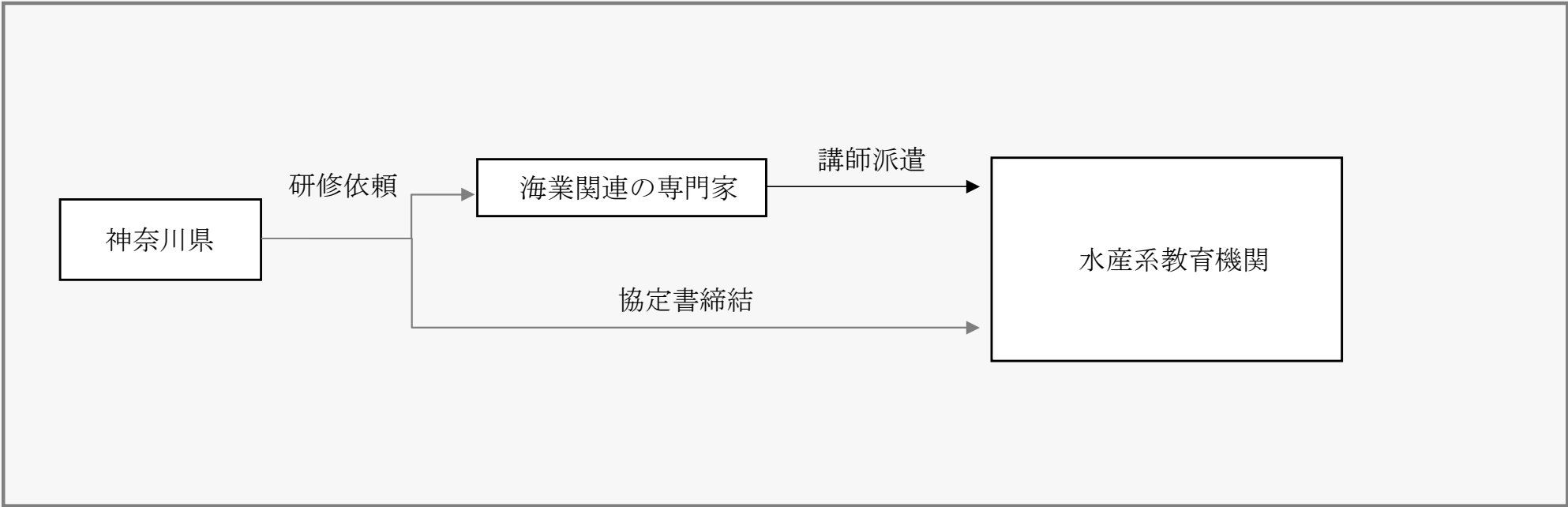


名称	役割
株式会社流通研究所	- 事業計画の企画 - 報告書作成をはじめとする事業全体の管理 - 事業の運営実施
漁業関係者	事業実施に必要な情報の提供、マッチング会等への参加・協力
企業	事業実施に必要な情報の提供、マッチング会等への参加・協力
水産系教育機関	事業実施に必要な情報の提供、シンポジウム等への参加・協力

名称	役割
神奈川県民	シンポジウム等への参加、アンケートへの協力

海業推進事業のうち海業の担い手育成事業

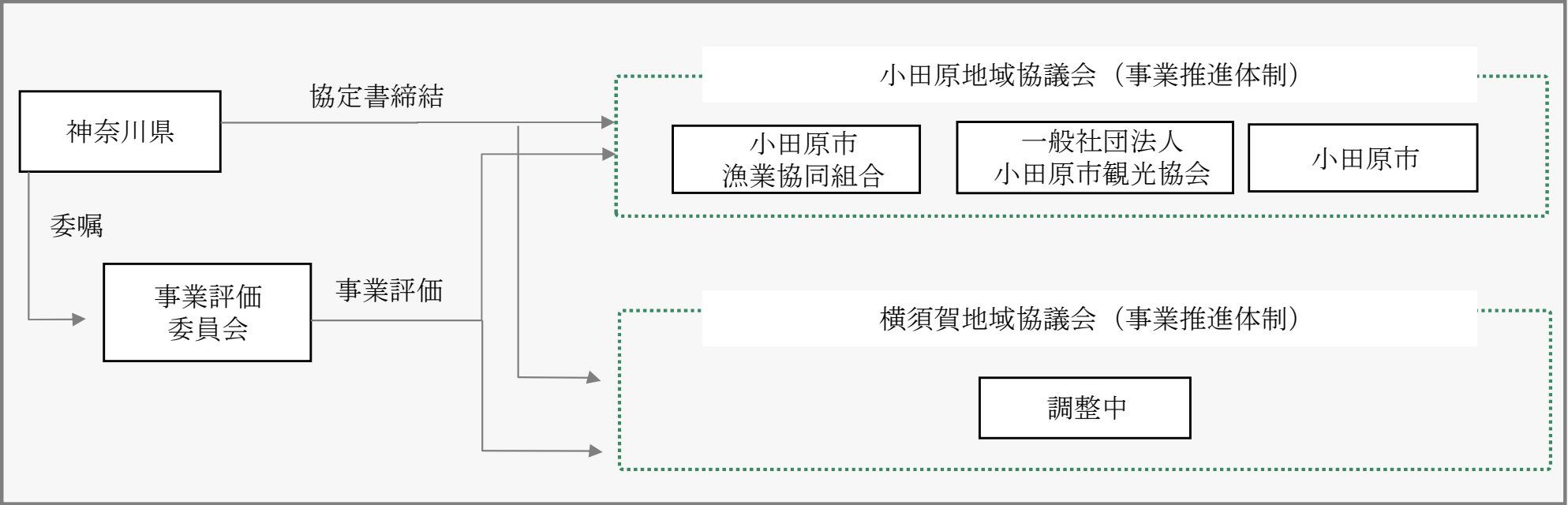
■ 実施体制



名称	役割
神奈川県	事業全体の統括
水産系教育機関	- 担い手育成に係る研修の企画運営実施 - 効果検証への協力
海業関連の専門家	担い手育成に係る研修への参加・協力

海業推進事業のうちかながわ海業普及促進事業

■ 実施体制



名称	役割
神奈川県	- 事業全体の統括 - 海業の取組による所得向上効果等の検証
事業評価委員会	モデル創出事業で設置した委員会を活用し、海業の取組による所得向上効果等を検証する。
小田原地域協議会	海業の取組の実施
横須賀地域協議会	海業の取組の実施